

JFA 第50回全日本U-12 サッカー選手権大会 栃木県大会要項

- 1 目 的 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
- 2 主 催 (公財)日本サッカー協会 (公財)日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社 (公社)栃木県サッカー協会
- 3 主 管 栃木県ジュニアサッカー連盟
- 4 協 賛 U-12 トップパートナー
YKK / 花王 / 日清オイリオグループ / ゼビオ / 日本マクドナルド / ビックカメラ
- 5 後 援 日本テレビ放送網 報知新聞社 栃木県教育委員会 栃木県内市町サッカー協会
- 6 開催協力 モルテン
- 7 期 日 令和8年10月31日(土)・11月1日(日)・7日(土)・14日(土)・21日(土) 予備日:8日(日)・15日(日)
- 8 会 場 県内各地区のグラウンド
- 9 資 格

(1) 団 体	①大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種に加盟登録した団体(準加盟も含む)。 ②「2026栃木県ジュニアサッカー連盟リーグ戦」に参加している団体。
(2) チーム	①正式に登録された監督・選手と大会登録のコーチ・帯同審判員で構成されたチームとする。 ②本大会に上記1団体から2チーム以上が参加する場合は、1チーム目は①の条件を満たすものとし、2チーム目以降は正式に登録された選手と大会登録の監督・コーチ・帯同審判員で構成されたチームとする。選手・監督は、チーム別に登録されていること。 ③コーチ及び帯同審判員についてのみ、同団体内であれば複数チームを兼ねて登録してもよいこととする。ただし一方のチームで「監督」として登録している場合は、他チームでコーチ・帯同審判員として登録することは認めない。
(3) 選 手	①上記団体(チーム)に所属する選手であり、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証を有するもの。 ②追加登録選手は、本連盟の定める正規の手続きで追加登録を完了したもの。 ③移籍選手は、本連盟の定める正規の手続きで移籍したもの。
(4) 帯 同 審判員	①4級審判以上の資格を有し地区理事の承認を受けている審判員であること。大会にエントリーできる帯同審判員の上限は無しとする。 ②当日審判を担当する帯同審判員は大会参加申込書に記載した帯同審判員の中から朝の監督打合せ前に確定する。 ③同時に2名、審判を担当できるようにすること。
(5) ユニフォーム	①試合当日にユニフォーム(シャツ・パンツ・ストッキング)は正の他に、副として正と異なる色のユニフォームを有すること。

10 チームの構成人数と条件

- (1)大会にエントリーできるのは監督1名・コーチ1名以上で、コーチの人数の上限は無しとする。
 - ・当日ベンチ入りできるスタッフは、監督1名(大会参加申込書に記載した監督)・コーチ1名以上2名以内(大会参加申込書に記載したコーチの中から朝の監督打合せ前に確定)とする。
 - ・D級以上のライセンスを取得している監督及びコーチのみ、ベンチ入りを認める。
 - (2)選手は8名以上20名以内とする。
 - ・大会に参加する選手は、スポーツ安全保険に必ず加入していること。
 - ・大会における選手の傷害等の補償は、スポーツ安全保険の範囲内のみで、主催者は一切負わないものとする。
 - ・大会に参加する選手は必ず保護者の承諾を得ていること。
- (但し、全日本U-12 サッカー選手権大会全国大会は、1次登録→役員上限無し・選手20名以内。最終登録→役員6名以内・選手16名以内。ベンチ入り→役員2名以上3名以内・競技者の数8名・交代要員8名以内)

11 競技規則 本大会は、公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則2025/26」及び「8人制サッカー競技規則」により実施し、本大会要項に基づき運営される。但し、以下の項目については特にジュニア用として大会規定に定める。

- (1)競技人数 8人制 競技者の数:8名 交代要員の数:12名以内
交代を行うことができる数:制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)
- (2)競技時間 40分(前・後半20分)とする。インターバル(前半終了のホイッスルから後半開始)

のホイッスルまで) 5分とする。

勝敗が決しない場合は、PK方式(3人)により決定する。ただし、決勝戦において勝敗が決しない場合は、10分の延長(前・後半5分)を行い、なお決しない場合は、PK方式(3人)により決定する。

(3) 競技場

- ・芝、クレー(土)のグラウンドを使用する。
- ・長方形で68m×50mを原則とする。
- ・ペナルティーエリア 12m
- ・ゴールエリア 4m
- ・センターサークル 半径7m
- ・ペナルティーマーク 8m

(4) ゴール 5m×2.15mのジュニア用ゴール

(5) 使用球 4号球(公認球)

(6) キックオフからのゴールインは得点と認めず、相手のゴールキックで再開する。

(7) フリーキック、コーナーキックのとき、相手選手は7m離れる。

(8) 反則により警告が2回累積及び退場した選手・監督・コーチは、次の1試合出場停止。なお選手が退場した場合は、交代選手の中から補充を認める。全国大会と本大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、本大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、全国大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。

(9) 選手の用具

- ・本大会に登録した正・副2組のユニフォームを試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。ユニフォームの正副の2色については、明確に異なる色とする。
- ・主審は、対戦するユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち合いのもとその試合において着用するユニフォームを決定する。
- ・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。但し、ビブス等は不可。
- ・ソックス、シューズ等の色は問わない。
- ・アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色は問わない。原則、ピッチ上の8人が同色のものを着用する。着用しているプレーヤーと着用していないプレーヤーが混在していてもかまわない。ただしGKはFPと違っていてもよい。
- ・キャプテンマーク(アームバンドなど)の着用を推奨する。着用するアームバンドの色柄等については問わない。フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。また、アームバンドの代用としてテープなどを着用することができる。

(10) 審判員

- ・主審、副審2名、第4の審判員の4人制とする。

12 競技方法

(1) トーナメント戦

(2) 以下のチームをシードする。

- ・後期県トップリーグ戦に参加した8チーム
- ・後期地域リーグ戦各地区上位1チーム(参加チーム数最多の宇河地区のみ上位2チーム)
- ・会場担当チーム

13 表彰	優勝	表彰状、トロフィー、優勝旗、優勝カップ、メダル、協賛社副賞
	準優勝	表彰状、カップ、メダル
	3位(2チーム)	表彰状、カップ、メダル
	努力賞	トロフィー

14 代表権 全国大会への出場権は栃木県大会で優勝したチーム・選手に与えられる。栃木県大会での登録選手数が20名に満たない場合は、加盟チーム内の選手から補充することができる。

15 大会エントリー 令和8年9月30日(水)~10月4日(日)まで

JFA登録サイト「KICKOFF」にて行う。

16 参加料 各地区ごとに、地区の定める期間・方法で12,000円を納入する。9月29日(火)には完了していること。※納入方法詳細は年度初めに地区理事よりチームへ通知。

17 抽選会

(1) 期日 令和8年10月11日(日)

(2) 会場 ホンダヒート・グリーンスタジアム会議室 栃木県宇都宮市清原工業団地32

※各チーム監督は出席せず、地区代表者(宇河地区)出席のもと、代理抽選を行う。

(3) 大会関係詳細等については抽選会前に各チームにメール等で配付。不明な点は地区理事まで。

18 表彰式

(1) 期日 令和8年11月21日(土) 決勝戦終了後

(2) 会場 下野市大松山運動公園陸上競技場

19 確認事項

(1) 参加申込の留意事項。

- ・チーム情報(連絡先、指導者、参加選手、ユニフォーム等)を正しく登録すること。参加申込終了指定日以後は変更を認めない。

(2) 各チームは、「KICKOFF」から出力し印刷した「大会参加申込書」を持参すること。また、必ず選手の顔写真が貼付されていること。ベンチ入りする各チームの監督は「監督証」「ライセンス証」、コーチは「ライセンス証」を首から下げる形で携帯すること。

(3) 以下に該当するチームは不戦敗(0-3の没収試合)とする。

- ・色の異なる正副2着のユニフォームを用意できない場合
- ・試合開始時、選手8名未満及び棄権の場合
- ・試合開始時刻に30分以上遅れた場合

(4) 大会当日第1試合開始40分前に、各会場で監督打ち合わせを行う。

(5) 本大会は、公益財団法人日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

大会規律委員会の委員長は大会運営委員長とし、委員については委員長が決定する。本実施要項の記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。